

五中だより

府中市立府中第五中学校 校長伊藤淳 令和4年5月24日 No.2

「信頼残高」

スティーブン・R・コヴィーという人が書いた本「7つの習慣」の中に「信頼残高」という言葉があります。銀行の口座にお金を預けていけば残高はプラスに、引き出せばマイナスになります。人間関係もこの銀行口座と同じで、相手との信頼関係においても預け入れも引き出しもあるのです。この人間関係における信頼の度合いを「信頼残高」と呼びます。

私たちは自分名義の信頼口座を開設しています。信頼口座の取引は、自分が相手に「言ったこと」「行ったこと」です。信頼を得ることをすればプラスとなり、信頼を損なうことをすればマイナスとなります。

例えば、約束を守ることは「預け入れ(プラス)」、約束を破ることは「引き出し(マイナス)」。 小さな約束を一つひとつ守ることで信頼されるようになり、残高が高まっていきます。学校でいえば、ルールを守る、授業をしっかり受ける、提出物を期限内に出すなどです。謝る、謙虚な態度は「預け入れ(プラス)」。謝らない、協力しない、人のせいにする、面倒なことは何か言い訳を見つけてやらない、見下したような態度をとることなどは「引き出し(マイナス)」となります。

人は誰でもミスを犯します。ミスそのものも信頼の引き出しかもしれません。しかし、自分のミスを正直に認め、誠実に謝ることは、実は信頼の預け入れなのです。最もやってはいけないこと、それはミスを犯したときにそのミスを隠す行為や自分の非を認めずに他の人のせいにする行為です。ミスを隠したり、隠し通そうとしたり、やりたくないことは協力もせずに自分にとって都合のいいことばかりを言っているようでは、周囲からの信頼は一気に「引き出し」となります。

信頼を得るには時間がかかります。しかし、失うのは一瞬です。良好な人間関係の土台には何よりも信頼、信用があります。それを生むのは、謙虚な気持ち、誠実な態度なのです。

4月の全校朝礼で、「あいさつ」「靴をそろえる」 ことについて話をしました。翌日、みなさんの靴箱 を見に行くと、靴のかかとを揃えている人が多くい ました。また、あいさつを明るく元気にしてくれる 姿がありました。5月17日の生徒総会での皆さん の姿もとても嬉しく、そして頼もしく感じました。





小さなことかもしれませんが、その姿が五中全体や一人ひとりの信頼につながっていくのだ と感じます。これからも大切にしていきましょう。

府中五中を去られた先生方より

今年度も、昨年度に引き続き離任式を行わなかったため、転出された先生方からいただいた メッセージを紹介します。

前3年A組担任 田之岡 進 先生

6年間お世話になりました。田之岡です。現在は、稲城市の稲城第五中学校で元気にしています。多摩川を渡るとこんなにも違うのかと感じています。6年前の五中を思い起こさせます。 まだ、生活しにくいこともあると思いますが、皆さんも元気に頑張ってください。

前3年D組担任 本田 梨沙 先生

府中第五中学校の皆さん、こんにちは。2、3年生の皆さんは、お久しぶりです。この春入学した1年生は、初めまして、でしょうか。

私はこの春から、三鷹市立第五中学校で勤務しています。また「五中」だ、という共通点は ありつつも、当然のことですが、場所が変わればいろんなことが変化するものです。異動して から 1 ヶ月、まだまだ変化に慣れることに精一杯の日々を送っています。

新しい生活は大変なことが多く、慣れ親しんだ府中五中の日々が懐かしく思い出されますが、 そのたびに「府中五中の皆も頑張っている」と自分を奮い立たせています。

新年度、新たな仲間と共に歩み始めた府中五中の皆さん。これからも周りの人を大切に、また、 自分自身も大切に。色々なことに対して、全身全霊、突き進んでいってください。少し遠くか ら、陰ながら応援しています。

非常勤教員 小林 裕子 先生

気がつけば七年間も五中にお世話になっておりました。離れてみると、いろいろな方々にどれだけお世話になっていたかということを実感します。いろいろありがとうございました。

府中六小運動会スタッフボランティアについて

5月28日(土)に府中六小の運動会が開催されます。そこに、運営スタッフとして五中生が37名参加します。当初は20名の募集でしたが、募集開始後わずか3日で37名が希望してくれました。当日は、スターターや着順判定だけでなく、低学年児童の管理や会場片付けまで行う予定です。皆さんの力で、六小の運動会がスムーズに進行し、六小の先生方や児童・保護者に感謝されることを願っています。よろしくお願いします。